

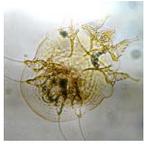
猫の掻痒行動診断ステップ

名前： _____ 初診日： _____ 年 月 日

1. 外部寄生虫症・皮膚糸状菌症・二次感染



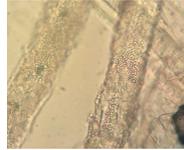
ノミ
()



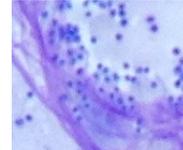
疥癬
()



その他
()



皮膚糸状菌症
()



ブドウ球菌
()



マラセチア
()

A. アレルギー性皮膚炎 (猫アトピー性症候群：食事、環境、喘息、消化器)

A) 食物アレルギー

IgE検査・(パッチテスト) ()

除去食試験(8週間)の実施 (No or Yes :)

・加水分解食 ()

・新規蛋白食 ()



B) 猫アトピー性皮膚症候群



IgE検査+皮内試験 ()

・根本治療：減感作療法 ()

・対症療法：薬物療法

内服 ステロイド ()
シクロスポリン ()
(アポキル®) ()

外用 ステロイド ()
タクロリムス ()

補助 抗ヒスタミン剤 ()
乳酸菌製剤 ()
スキンケア (内服・外用：)

B. 心因性

- ・ 性格的 ()
- ・ ストレスのきっかけ ()
- ・ 自傷のパターン ()

C. 局所の違和感

- ・ 膀胱炎・便秘 ()
- ・ 整形学的問題 ()
- ・ 皮膚の腫瘍：MCTなど ()
- ・ 異物の埋没 ()

※診断のポイント

- ・ 猫の過剰舐め行動の原因の多くはABCのどれか
- ・ 問診で区別できる場合が多い?

3. その他：免疫/腫瘍

- ・ 落葉状天疱瘡、薬疹、剥奪性皮膚炎、多形紅斑 / 肥満細胞腫、リンパ腫など